

「当事者スタッフに学ぶ回復と依存症支援」研修会

特別講師：渡邊 洋次郎氏（リカバリハウスいちご 支援員）

日時：2025年 9月 27日（土） 14：00～17：00

場所：鳥取県東部 渡辺病院 3階 第1セミナー室

（ハイブリッドで開催）

中学校ではシンナーや万引きなどを覚えていく。「人と向き合うとき、能力や知性どころか存在自体の無価値さを自分に感じるのがずっとあった。」

「アルコール依存症の診断を受けたのは20歳の頃で、同じ時期に薬物とか非行とか自傷行為もあったが、これらが医療で扱われているとは知らなかった。」「出所して依存症の治療を続ける『生き直し』の中でたまたま今の職場を選んだだけ。」

「履歴書を書けば職歴に大きな空白のできる自分のような人間が、45歳相応の振る舞いや経験値を求められても無理。」「たとえ中学からドロップアウトしようとも、現時点の自分からスタートできる環境が今の職場にはある。」

障害者.com 2021.04.11 より引用

<開催内容>

1. 開会の挨拶・薬物依存症支援拠点の取組み 山下 陽三（15分）
2. 講演：「失っていた自分の人生を創り上げる（仮）」（90分）
3. 鳥取ダルクでの当事者支援活動（20分）
4. 体験談：薬物依存症本人より（15分）
5. 質疑・意見交換：（30分）

開催に当たって

薬物乱用の問題が注目されています。生き延びるためのアディクション、孤独・孤立の病ともいわれる依存症の治療と支援に必要なことは何かを当事者支援活動の原点から共に学んでいきます。



自伝「薬物・アルコール依存症 回復体験を語る」 渡辺 洋次郎さん(45)

2021年10月27日中日新聞「この人」掲載

薬物・アルコール依存症
回復体験を語る

わたなべ 渡辺 洋次郎さん(45)

薬物とアルコールの依存症で過去に四十八回、精神科病院に入院。刑務所にも服役した。十年以上、薬物も酒も断った今、大阪市の依存症回復支援施設に職員として勤め、大学などで講演を重ねる。幼い頃からアトピーで肌荒れがひどく、友達にばかにされた。家では酒飲みの父の機嫌をうかがっていた。「素の自分でいられる場所がなかった」。シンナーに手を出したのは中学時代。弱い自分を



強く見せたかった。ホストとして働き、ブランドを買い、アルコール依存症で二十歳でアルコール依存症と診断され、入院や自傷行為を繰り返した。三十歳の時、窃盗などの罪を犯し三年服役。独居房の中で「自分を変える」と誓った。出所後、自助グループに通い、介護福祉士の資格も取得。依存症の人を支援する側に回り、二年前に自伝「下手くそやけどなんとか生きてるねん。」を出版した。

依存症の啓発を続け、十一月には愛知学院大や日本福祉大で講演する予定だ。かつて医師から「回復は無理」と見放された。「手を差し伸べてくれる人がいれば、生き直せる。弱さも過去もさらして自分の姿を見せ、そう伝えていきたい」

(細川暁子)

依存症回復支援施設「リカバリハウスいちご」に支援員として勤める渡辺洋次郎さんに鳥取まで来ていただくことになりました。「下手くそやけどなんとか生きてるねん。」(現代書館)を購入して読み、改めて治療支援者に役立つ内容がわかりやすい言葉で書いてあると思いました。

そして、現在通院あるいは入院して治療に取り組んでいる人にもご参加していただき、当事者が回復することの苦労をいっしょに学びたいと思います。

今回は Zoom での配信をしますので、会場にてご参加できない場合はご登録ください。

FAX 送信票

2025 年 9 月 27 日(土) 14:00~17:00

2025 年度 鳥取県薬物依存症支援拠点機関事業

「当事者スタッフに学ぶ回復と依存症支援」研修会

参加申込書

参加申込先 渡辺病院 松村 行

① FAX 0857 - 20 - 1151 ②E-mail : k.matsumura@mmwc.or.jp にて申込可
※申込期限は 2025 年 9 月 23 日 (火) です。②のアドレスに、メールにて申込書の内容を記載するか、スキャンした申込書を添付し、送付することもできます。

出席方法

① 会場での参加 先着の 60 名程度とさせていただきます。

② Web (Zoom) で参加 ^(注)

(メールアドレス : _____)

(注) Web での配信は Zoom による配信を予定しております。

「Web 参加」を希望される場合は、事前にご自身のパソコン又はスマートフォン等に Zoom アプリ (無料版) をインストールしていただきますようお願いします。

後日、詳細をメールにてお知らせさせていただきます。

発信元

所属 : _____

名前 : _____

連絡先 : TEL _____ (FAX _____)

参加者

所 属	氏 名